

ソフトボール静岡

静岡県ソフトボール協会
 発行部数 3,450 (季刊)
 発行/静岡県ソフトボール協会
 (掛川市中央1丁目10番9号)
 発行責任者/竹山 裕
 編集責任者/片多 裕泰
 FAX 0545 (21) 4491

登録料を改定!

審判・記録、十八年度分より実施

先の理事会にて平成十八年度から、審判員・記録員の県協会への登録料が改定されることが承認された。今実施される登録料の改定内容は、審判員・記録員とも三五〇円の値上げとなり、審判員が現行一〇〇〇円から一三五〇円、記録員が九〇〇円から一二五〇円となる。値上げの背景となったものは何か。(関連二面)

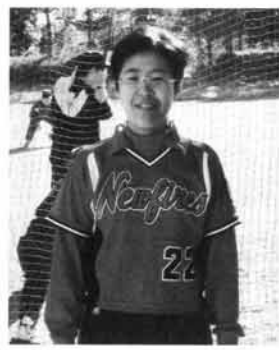
増える研修費

ソフトボール競技が五輪種目になってから、ルールがI.S.Dに統一され、複雑化するルール。弾むボール、反発力を増すバット、拡がるグラウンドと審判員・記録員を取り巻く状況が厳しくなっている。

最近の全国・東海・県大会における選手の競技方向上によりスピード感溢れるゲーム展開についていけば、時には基本的な連携

しなぎ役とこな

野球が好きで高校時代にソフトボールを始めた。以来、ソフトボールは彼女に



「自身そのもの」となり、今は、何はさて置いてもソフトボールを楽しむ。どのくらい入っている。現在所属している。焼津二ニューファイヤーズは同地

ソフトボール美人

53

焼津支部・八木美代子選手 (二ニューファイヤーズ)

区に女子ソフトボールチームの灯を燈すという思いから結成された。焼津は静岡・藤枝とソフトボールの盛んな地区に隣接しながら、児童や中学・高校生のチームが無い。そうした状況で「自分たちの活動が刺激になって、子供たちがソフトボールに興味を持ち、小中学生、さらに高校生のソフトボール部ができればいい。今はその「繋ぎ」のつもりで競技をやっている」と、目を



中心に取り組んできた結果について振り返ってみたいと思います。最初に組織の充実と財政の健全化ですが、市町村の合併に伴う支部組織の在り方、そして規約の見直し等を検討委員会が協議されたが、政令都市移行の関係も

05年を振り返って

理事長 栗原 貞秋



昨年当初の評議員会において、事業計画と運営方針をたて、各専門委員会を

あり、なかなか結論がでず、十八年度にかけて検討を進める事となった。財政については、厳しい実態の中、登録制度を見直し、個人登録への移行や、現在の登録料の値上げ等種々検討されたが、これも結論が出ず、

第二は大会運営ですが、昨年は希に見る上位大会が開催された年だった。全国大会は、高校男子選抜大会(富士宮市)、都道府県対抗中学生・全国中学生大会(掛川市)、日本女子リーグ(静岡市・磐田市)、

で敗退という残念な年だった。そんな中であって、静岡クラブOBがマスターズ三連覇は明るいニュースだった。悲しいことは、七月に当協会の生き字引の人であった牧野 義氏が逝去されたこと。牧野氏は生涯をソフトボールに捧げられたといっても過言ではなく、多くの人たちが指導を受け、二歩を頂いたこと。牧野氏の教えを汲み取り、牧野氏の発展に力を注いで行きたい。本年もソフトボール競技発展のために、関係者一同のお力添えをお願い申し上げます。

飛躍を期して 55周年を祝う ~五名に特別功労賞~



十二月十八日(日)創立55周年式典および祝賀会が静岡県ソフトボール協会主催のもと、静岡市ターミナルホテル・アソシアで開催された。

式典では竹山会長が50周年以降5年間の活動を振り返り、最大のイベントであった第五十八回国民体育大会・NEW!!わかふじ国体の取り組みを上げ「真の県協会の英知と聡恵と工夫が結果された素晴らしい内容であり、協会史に新たな

一ページを加えた。」と五年間の活動を総括。祝賀会の会場となったターミナルホテル・アソシアには県協会役員をはじめ、支部協会役員さらには、55周年を記念し、今日まで協会運営に携わり功績のあった五人の特別表彰者、支部協会の運営に功労のあった七十二名の表彰者など、百五十名が集い55周年を祝うと共に更なる飛躍を誓い合った。

甲子園へ足掛かり
 ソフトボールの拠点富士宮市に政府および文部科学省が進めている、青少年スポーツ競技の拠点作りで、ソフトボールの拠点として富士宮市が指定された。

大会種目は春の高校男子選抜ソフトボール大会、十九年三月開催の第二十五回大会をスタートに、向こう十年連続開催されることとなった。

竹山会長の続投決まる

昨年末の理事会にて十八・十九年度の役員改選に伴い、役員選考委員会の経過と選考結果について市川初司委員長より報告があった。

選考委員会は八月に第一回の会合を開いたのを皮切りに、都合三回の会合を重ね、竹山 裕現会長の意向も訊きながら続投を確認し、四人の現副会長と共に評議員会で推挙を決定した。

また、今季限りで勇退する栗原理事長に代わって、高木英夫副理事長(静岡支部)の理事長推薦と併せて理事会に提案され、満場一致で承認された。

なお、副理事長以下専門委員長等の人選については、新体制の下で行い、一月二十二日の評議員総会で承認され、新体制での協会運営が実施される。

を離れながら話す。チームでは監督代行や連絡係などを引き受け、自ら「繋ぎ役」を買って出る。そんな彼女をチームメイトは「チームには必要不可欠な人」と信頼の厚さを披露。金融会社に勤務し、人と接する機会も多く、気苦労も多い彼女にとって、ソフトボールは頑わしさを忘れさせてくれる「静養剤」。「みたいなもの。また、競技を続ける中から、物事に対しておろかさ

な気持ちになり、「以前より些細なことにクヨクヨしなくなった」と、ソフトボールを通じて「人間的にも成長した」と笑顔で話す。

職場では部長代理という要職にあり、支部協会の記録員・県協会で広報委員として各方面で活動する彼女。そんな彼女をソフトボールに駆り立てるものは、競技に対する情熱と根っかからのソフトボール狂なのか? (片多)